

■ 出展者紹介

企 業 名	遠藤ファーム株式会社		
年 間 売 上 高	24百万円	従 業 員 数	2名
生産量・作付面積	10ヘクタール(うち5ヘクタールは蜜源緑肥)		
代 表 者 氏 名	代表取締役 生産者 遠藤 友章		
メ ッ セ ー ジ	埼玉県の熊谷市で農業と養蜂を営んでおります 農家だからこそ出来るSDGsの取り組みとして 野菜収穫後→季節毎の花の種まき→ミツバチ→ハチミツ 採取→草花は畑の肥料へ→野菜を育てる というまある い循環で継続可能な循環型農業を実現 『野菜はよりおいしく ミツバチはより快適に 人はより幸せに 誰かの幸せのため』		
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.endo-farm.com		
事 務 所 所 在 地	〒 360-0245	熊谷市妻沼小島2737	
ほ 場 所 在 地	熊谷市妻沼小島地区		
担 当 者		E - m a i l	info@endo-farm.com
T E L	0276-38-1585	F A X	0276-38-1585



■ 生産工程・アピールポイント

不干収穫(4月ごろ)→耕転→ひまわり播種(6月ごろ)→ヒマワリ迷路作成(8月)→入々に無料開放→ひまわりハチミツ採集→耕転(花を緑肥に)→土壌消毒(4月ごろ)→大和芋定植(5月)

ゴボウ収穫(8月ごろ)→クローバー播種(9月~11月)→赤い絨毯解放(5月)→クローバーハチミツ採集(5月)→耕転(花を緑肥に)→ネギ定植(6月)

ヒマワリは、土中のリン酸を再活性化し、クローバーは空気中の窒素を固定するので、肥料を減らした栽培が出来る(なお、化学肥料は使用せずに有機肥料100%栽培)。連作をしないので、連作による病気が少ないので、消毒を減らせる。
 平成30年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール関東農政局長賞

写 真

		
窒素固定のクリムゾンクローバー	リン酸再活性のヒマワリ	誰かの幸せのために無料のヒマワリ迷路

■ 品質管理情報

品質保持への取組(冷蔵庫等)	プレハブ冷蔵庫3基			
商品検査の有無	●無 ○有→具体的に			
衛生管理への取組	製造工程の管理			
	従業員の管理			
	施設設備と管理			
危機管理体制	担当者連絡先	担 当 者	連 絡 先	
	記 録			